

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小3	算数	倍の計算「比較量を求める」	オクリンクプラス

授業内容 かだんの横の長さを、レンガの数との関係から図や式を使って求めよう

準備：

- ・共有コードを使用してカード（「提示カード」「かだんの横の長さカード」「つくえの横の長さカード」）を取得する。
- ・2つ目の課題用の提出BOXを1つ追加作成し、提出BOXを合計で2つ準備する。提出BOXの名称をそれぞれ「かだんの横の長さカード用」「つくえの横の長さカード用」と変更しておく。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

1. 各自、マイボードに送られた「提示カード」のイラストを見て、かだんの横の長さはどのように求められそうかを考える。何人かが発表し、全体で考えを共有する。
2. 各自、「かだんの横の長さカード」を開き、レンガの長さ、かだんの横の長さの関係を図や式に表して、かだんの横の長さを求める。「かだんの横の長さカード」用の提出BOXに送信する。
3. ペアになり、「かだんの横の長さカード」に図や式でどのように表したのかを説明しあう。
4. 何人かが全体で「かだんの横の長さカード」についてどのように考えたのかを説明する。もとにする量の何こ分になるかで表すことができる量を求めるときは、乗法を使えばよいことを全体で確認する。
5. えんぴつや消しゴムなどを使って、つくえの横の長さははかり「つくえの横の長さカード」に、図や式、文章で表す。作成したカードを「つくえの横の長さカード」用の提出BOXに送信する。
6. 全体で、「つくえの横の長さカード」を共有し、何をもとにする量としても、もとにする量×何こ分で長さが求められることを確認する。

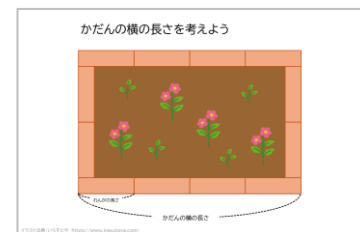
※「つくえの横の長さ」の活動で、子供たちが計算しやすいものを見つけられない場合に備え、あらかじめつくえの横の長さの整数倍になる素材を用意し、必要に応じて提供する。

サポータ
おすすめ
ポイント



- ・数字が入っていない提示カードを最初に見せることで、レンガの長さとかだんの横の長さの関係について気づかせることができます。
- ・ICTを活用することで、考えを書いたり消したり試行錯誤しながら取り組むことができます。
- ・提出BOXを複数用意することで、2種類の提出物もわかりやすく管理できます。


提示カード




イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

かだんの横の長さカード（回答例）

レンガの長さは 21 cmです。
 かだんの横の長さは レンガの長さ の 4 倍です。
 かだんの横の長さは 何cmですか。


かだんの横の長さ: 


レンガの長さ: 

$21 \times 4 = 84$ 答え 84 cm

つくえの横の長さカード（回答例）

つくえの横の長さは 5 cmです。
 つくえの横の長さは つくえの横の長さ の 13 倍です。
 つくえの横の長さは 何cmですか。

つくえの横の長さ: 

つくえの横の長さ: 

$5 \times 13 = 65$ 答え 65 cm

共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01KC3J87XFN6ZTVFE9STCK6GZ